Press Release

各位

2026年11月 17日

会 社 名 株式会社ステムセル研究所

代表者名 代表取締役社長 清水 崇文

ステムセル研究所の提携医療施設の医療従事者100名に聞いた さい帯血保管に関する意識調査

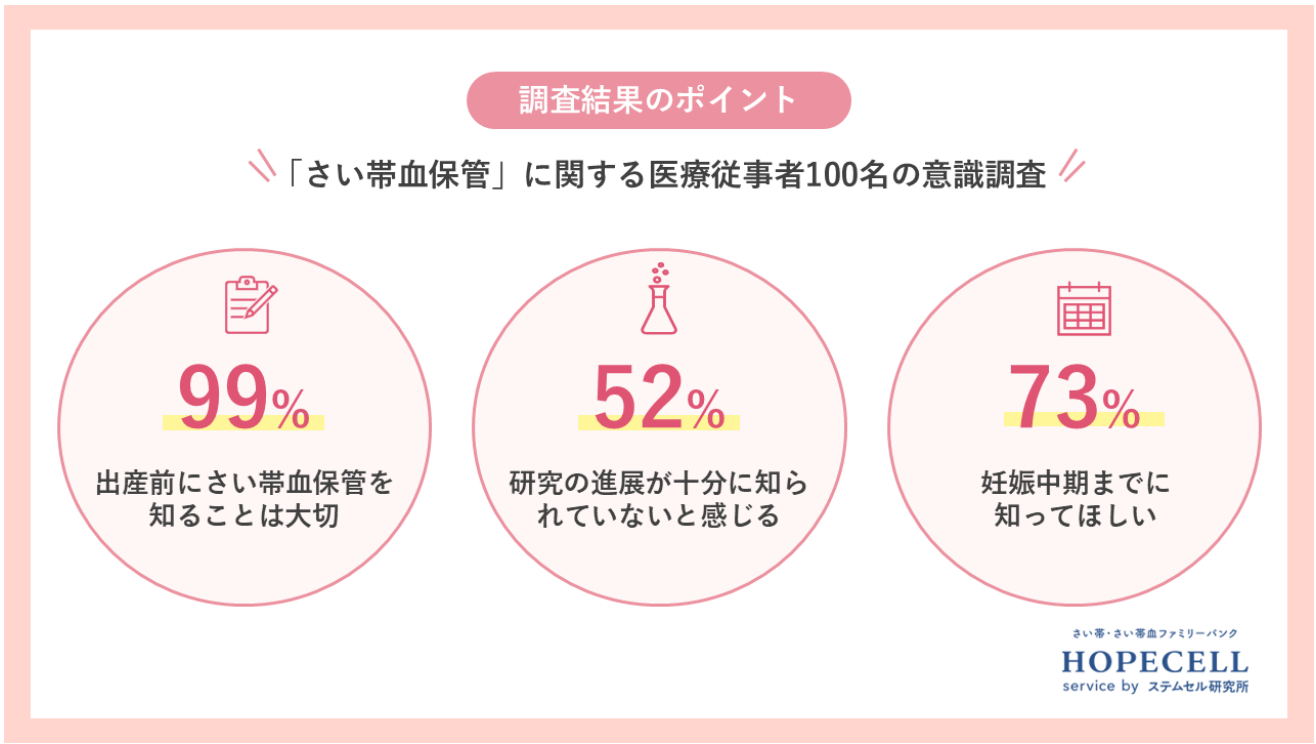
株式会社ステムセル研究所（本社：東京都港区、代表取締役社長：清水 崇文、以下「ステムセル研究所」）は、11月17日の「世界さい帯血の日」に合わせ、全国の提携医療施設の医療従事者100名を対象に、さい帯血保管に関する意識調査を実施しました。

※本調査は、当社の提携医療施設に勤務する医療従事者から得られた回答を集計したものであり、全国の医療従事者全体の意識を代表するものではありません。

さい帯血とは、赤ちゃんのへその緒と胎盤に含まれる血液のことで、血液のもととなる造血幹細胞などが多く含まれています。採取できるのは出産時の一度きりであり、脳性まひや自閉症スペクトラム障害（ASD）など、さまざまな疾患の治療に向けた研究が国内外で進められています。出産時にさい帯血を保管しておくことで、将来、ご本人やご家族に治療が必要になった際、利用できる可能性があります。

今回の調査の結果、回答した医療従事者の99%が「出産前にさい帯血保管という選択肢を知ることは大切」と回答し、73%が「妊娠中期までに知ってほしい」と考えていることがわかりました。一方、52%が「さまざまな疾患の治療に向けた研究が進んでいること」について、妊婦さんやご家族にまだ十分に知られていないと感じていることも明らかになりました。

これらの結果から、出産時にしか採取できないさい帯血について、妊婦さんやご家族が早い段階から正しい情報に触れ、保管するかどうかを検討できる機会の重要性がうかがえます。

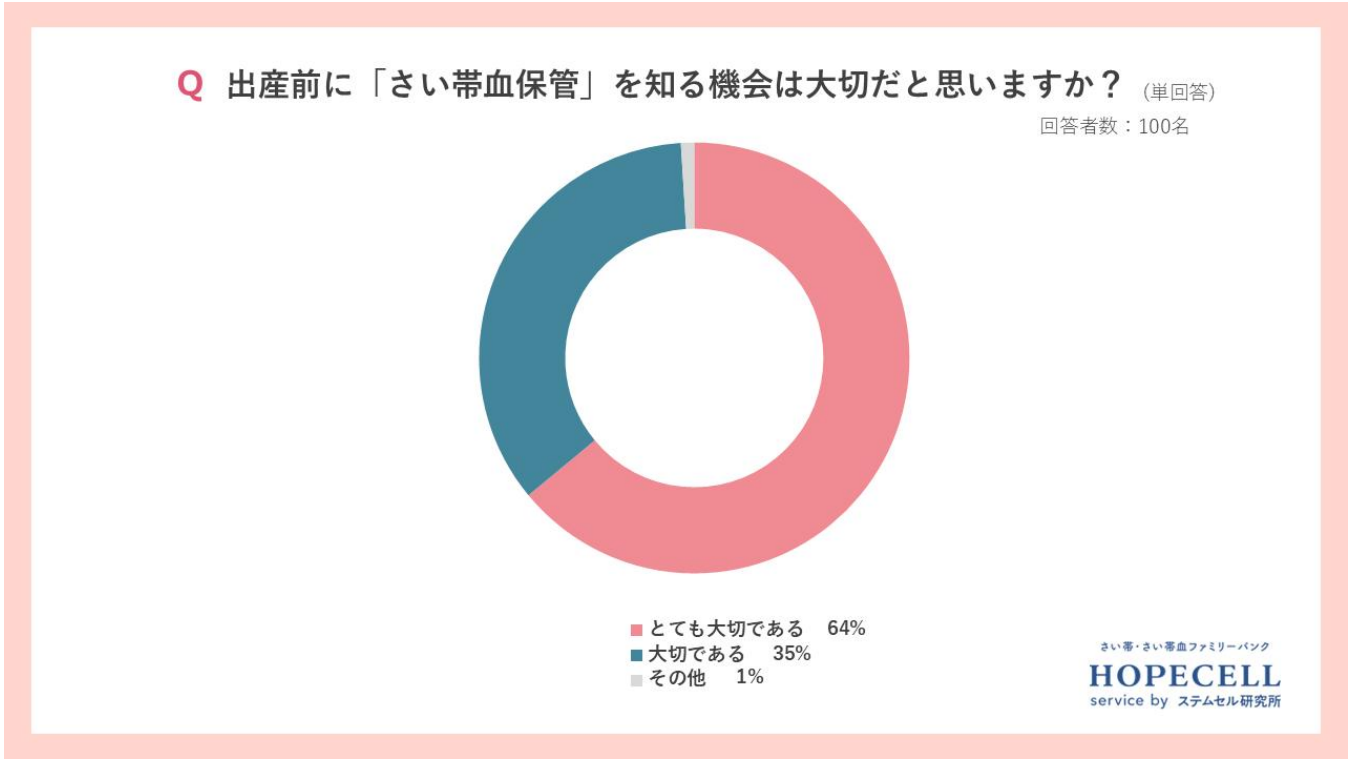


■調査結果① 99%が「出産前にさい帯血保管の選択肢を知ることは大切」と回答

出産前に「さい帯血保管するという選択肢」を知る機会について尋ねたところ、「とても大切だと思う」が64%、「大切だと思う」が35%となり、合わせて99%の医療従事者がその重要性を認識していることがわかりました。

さい帯血を採取できるのは出産時に限られるため、保管を検討するうえでは、出産前にその選択肢を知ることが欠かせません。

一方で、妊婦さんやご家族への情報の浸透については、課題も見えてきました。



■調査結果② 回答者の52%が、「さい帯血を活用した研究の進展は妊婦さんやご家族に十分知られていない」と回答

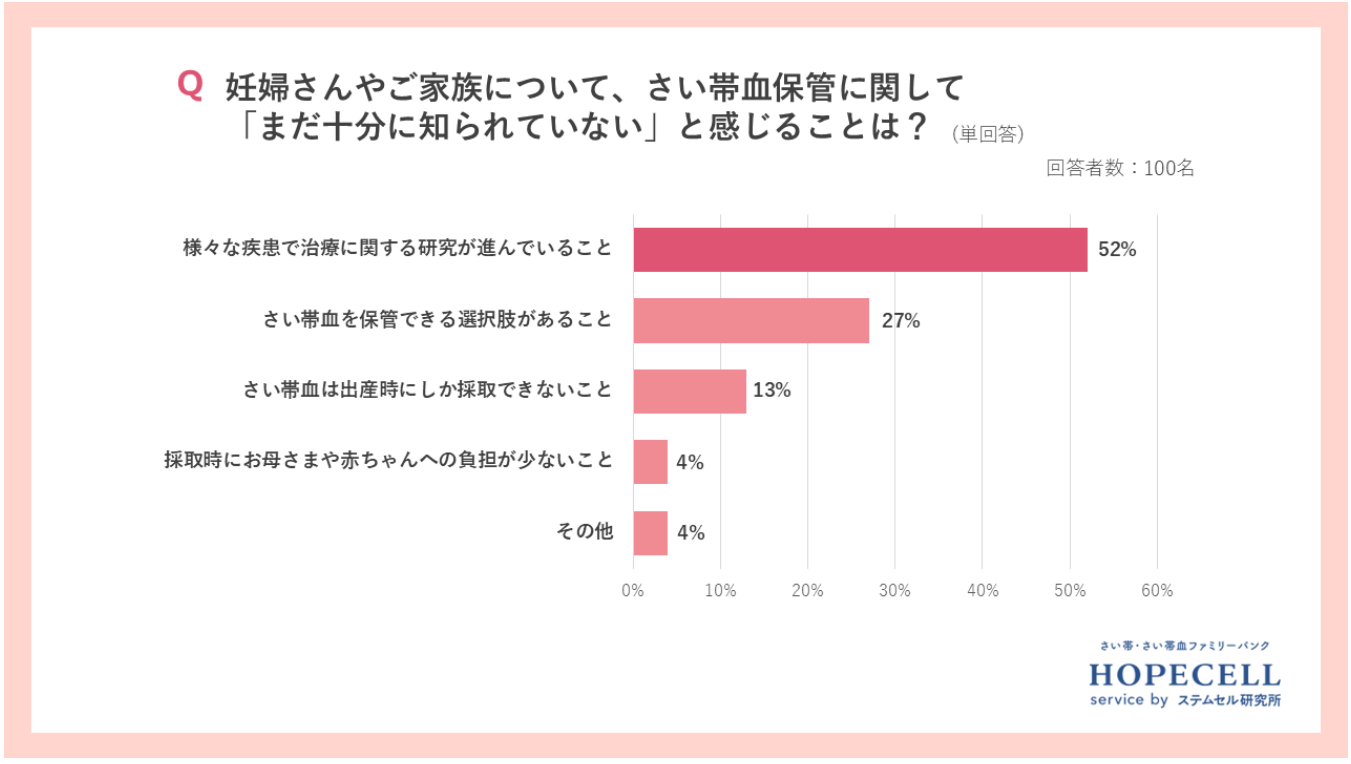
医療従事者へ、さい帯血保管に関して、妊婦さんやご家族に「まだ十分に知られていない」と感じることを尋ねました。
その結果、最も多かった回答は「さまざまな疾患の治療に向けた研究が進んでいること」で52%となりました。次いで、「さい帯血を保管するという選択肢があること」が27%、「さい帯血は出産時にしか採取できないこと」が13%となりました。

さい帯血は、これまで主に白血病などの血液疾患の治療に活用されてきました。近年では、再生医療の分野でも注目されており、脳性まひや自閉症スペクトラム障害（ASD）など、さまざまな疾患への応用を目指した臨床研究が国内外で進められています。

国内では、高知大学において脳性まひのお子さまを対象に、本人やきょうだいのさい帯血を用いた臨床研究が行われており、投与後に運動機能の評価スコアが向上するなど、改善の可能性が報告されています。

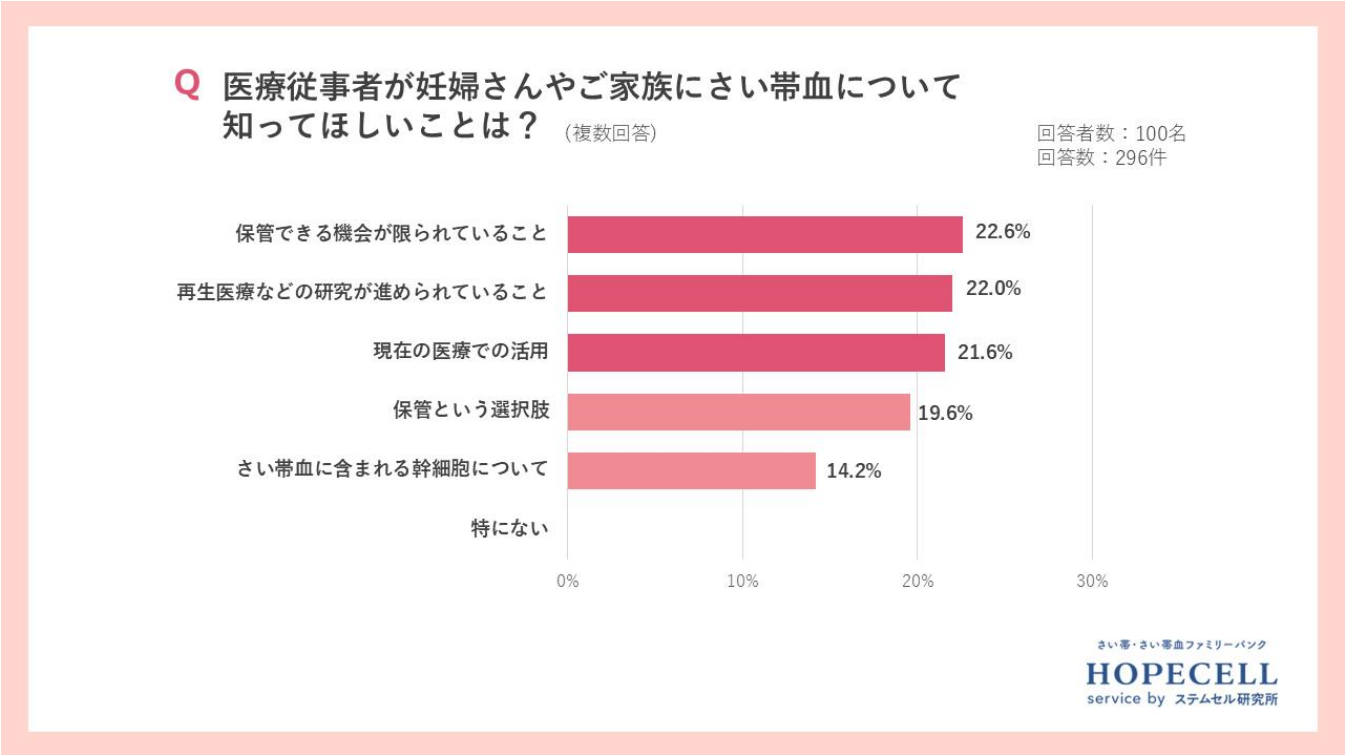
また、大阪公立大学では、ASDのお子さまを対象に、本人のさい帯血を用いた臨床研究が進められています。米国デューク大学で行われた臨床研究では、一部の対象者において、投与後にコミュニケーション能力などの評価指標に改善が認められており、さい帯血を用いた治療への期待が高まっています。

さい帯血を活用した研究の進展は、保管という選択肢を検討するうえで重要な情報の一つです。今回の調査結果からは、こうした研究の進展について、妊婦さんやご家族に十分に伝わっていないと感じる医療従事者が多いことがうかがえます。



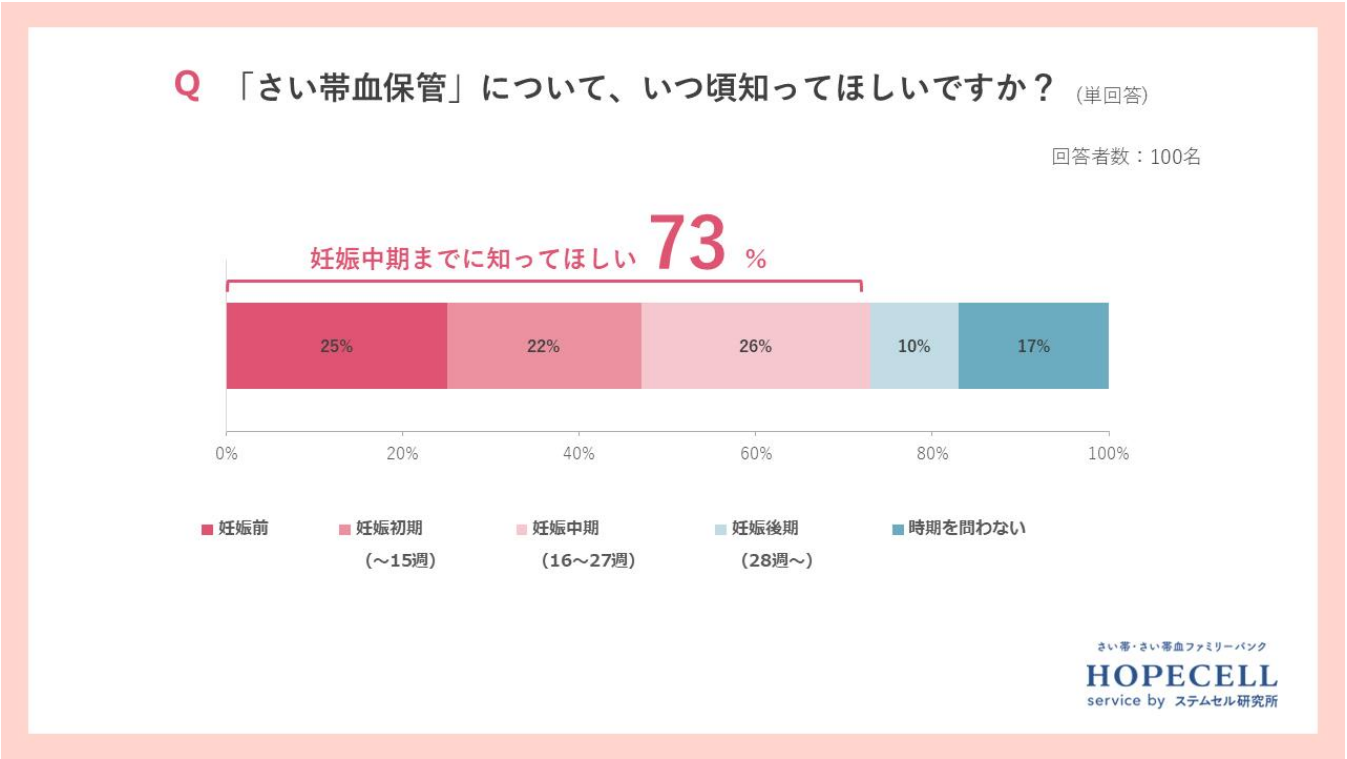
■調査結果③ 医療従事者が妊婦さんやご家族に知ってほしいことは？
～「採取できる機会が限られていること」「研究の進展」「現在の医療での活用」が上位に～
医療従事者へ、妊婦さんやご家族にさい帯血について知ってほしいことを複数回答で尋ねました。
その結果、最も多かったのは「採取できる機会が限られていること」（22.6%）でした。次いで、「再生医療などの研究が進められていること」（22.0%）、「現在の医療での活用について」（21.6%）が続きました。
また、「保管という選択肢があること」（19.6%）も多く挙げられました。
※割合は全回答数に占める各選択肢の回答割合を示しています。

今回の結果から、医療従事者が妊婦さんやご家族に伝えたい内容は、さい帯血を採取できる機会が限られていることだけでなく、現在の医療での活用や再生医療分野における研究の進展など、多岐にわたることがうかがえます。



■調査結果④ 約7割の医療従事者が「妊娠中期までに知ってほしい」と回答
医療従事者へ、妊婦さんやご家族がさい帯血について知る機会は、いつ頃がよいと思うか尋ねました。
その結果、「妊娠前」が25%、「妊娠初期（～15週）」が22%、「妊娠中期（16～27週）」が26%となり、合わせて73%が妊娠中期までに知ってほしいと回答しました。

さい帯血は出産時にしか採取できないため、保管するかどうかを検討するには、出産前に情報を知ることが大切です。今回の調査でも、回答者の73%が妊娠中期までに知ってほしいと考えており、早い段階での情報提供を重視する傾向がうかがえます。



■医療従事者の声｜出産前に知ってほしい、さい帯血保管という選択肢
今回の調査では、さい帯血保管に関する医療従事者の思いや、妊婦さん・ご家族へのメッセージも寄せられました。その一部をご紹介します。

藤田医科大学病院
医師　N.M 先生
出産時は赤ちゃん自身だけでなく、ご家族・ご親族の病気にも有効治療の選択肢になる可能性がある幹細胞を保存できる機会であることの認識が広まることを願います。

名古屋バースクリニック
医師　M.Y 先生
臍帯血は現在わかっている病気への治療だけでなく、今後無限の可能性があります。出産時に臍帯血を採取、保存するという選択はお子さんの将来を守る大きな財産になります。

順天堂医院
助産師　S.A さん
一度しかないチャンス。知っている上で判断するのと、知らないでそのチャンスを逃すのでは大きな差です。まずは知ることから始めましょう。

恵愛病院
助産師　T.C さん
臍帯血の研究が進み、様々な病気に使える可能性が広がっているようです。後から取ることはできないので、ご家族でよく話し合って決めていただければ良いのではないでしょうか。

■当社の今後の取り組み｜出産前に、さい帯血保管という選択肢を知っていただくために
さい帯血は、出産時にしか採取できない貴重なものです。しかし、保管するかどうかは、それぞれのご家庭が情報を十分に理解したうえで判断することが大切です。
ステムセル研究所では、全国の提携医療施設で開催される母親学級で、さい帯血保管についてご説明する機会をいただいているほか、各地のマタニティイベントにも出展しています。こうした活動を通じて、さい帯血の医療での活用の可能性や研究の進展、お子さまやご家族の将来に備えて保管するこ

との価値をお伝えするとともに、妊婦さんやご家族からのご質問にも直接お答えしています。
妊婦さんやご家族が出産前に必要な情報に触れ、納得して判断できる機会の充実を目指してまいります。



マタニティイベントでの当社ブースの様子

■調査概要

調査対象	全国の提携医療施設の医療従事者
回答者数	100 名
職種別内訳	医師 17 名、助産師 55 名・看護師 24 名・その他 4 名
調査方法	インターネット調査
調査期間	2026 年 9 月 14 日～2026 年 10 月 9 日
実施機関	株式会社ステムセル研究所

※調査情報利用の際は以下のご対応をお願いします。
1. 情報の出典元として「さい帯・さい帯血ファミリーバンク ステムセル研究所」と明記してください。
2. ウェブサイトで使用する場合は、出典元として、以下の当社公式サイトへのリンクを設置してください。
URL： https://stemcell.co.jp/

■ 株式会社ステムセル研究所 概要

当社グループは「あたらしい命に、あたらしい医療の選択肢を。」をコーポレートスローガンに掲げ、産婦人科施設との強固なネットワークを活用し、再生医療・細胞治療を目的とした「さい帯」

や「さい帯血」等の周産期組織由来の細胞バンク事業を展開しております。また、これらの事業基盤を活用し、再生医療・細胞治療分野における新たな治療法の開発に加え、関連領域における事業開発や投資にも取り組むことで、事業領域の拡大と収益機会の多様化を図り、グローバルかつサステナブルな成長と社会への貢献を目指しております。

設 立 年 月 日　：1999 年 8 月 5 日（東証グロース上場：7096）
資　　本　　金　：7 億 480 万円
代表取締役社長　：清水 崇文（しみず たかふみ）
本　　社　：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-19　東急虎ノ門ビル 2 階
TEL／ホームページ　：03-6811-3230　／　https://www.stemcell.co.jp/corporate/
グループ会社　：STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD.　株式会社ミルケア

【本件に関する報道関係のお問い合わせ・ご質問はこちら】
株式会社ステムセル研究所　総合企画本部
TEL：03-6811-3235 ／ MAIL：pr@stemcell.co.jp